

1 学校教育目標・重点目標

学校教育目標	重点目標(中・長期的目標)
<p>豊かな心と広い視野、創造的な姿勢を持ち、主体的に社会貢献できる、心身ともにたくましい人間を育てるために、以下の3点を目指した教育を推進する。</p> <p>1 自らの生き方を考えとともに、思いやりの心と社会規範意識を持ち、時代の変化に対応できる柔軟かつ能動的で個性豊かな人間性の醸成</p> <p>2 自分の興味や適性を認識し、将来の主体的な職業選択の実現に向けて着実に努力していく能力・学力を持つ生徒の育成</p> <p>3 地域の自然や歴史・伝統を理解し、地域の産業や文化の発展に寄与するとともに、広く世界に目を向け、社会の発展に創造的に貢献できる生徒の育成</p>	<p>(1) 総合学科として、地域の産業・文化の振興と環境保全に貢献する人材教育をするために、積極的に地域との連携を図り、生徒一人ひとりの意欲と自尊心の向上を目指す。</p> <p>(2) キャリア教育を充実させ、生徒の社会的・職業的自立に向け、必要な能力や態度を育てる教育活動を計画的に行い、進路実現を目指す。</p> <p>(3) 安心で安全な学校(環境)づくり体制を構築し、生徒会活動・クラブ活動・課外活動を通じて、生徒の多様性・独自性を尊重し、主体的に生きる力を育むとともに、豊かな情操の形成、社会規範意識の育成および体力の向上を図る。</p> <p>今年度の重点目標</p> <p>① 基本的な生活習慣を向上させ、安全安心な環境を維持し、いじめや体罰を許さない人権教育を推進する。</p> <p>② 信州の総合学科高校としてのあり方を再検討し、地域の連携を充実させたキャリア教育体制を更に強化する。</p> <p>③ 主体的・探求的な学びを推進するため、学力向上を目指した授業改善と生徒の課外活動への支援をする。</p>

2 評価項目・評価の観点

(「達成度」のA～Dは、「A 達成できた、B ほぼ達成できた、C 改善の余地がある、D 相当の改善を要す」を表す。)

対象	評価項目	評価の観点	重点	成果と課題	達成度
企画・推進	組織の連携	各部署と連携をとりながら、現状の課題、中長期的な課題、将来像の検討、危機管理対策について取り組むことができたか	①②③	高等学校基礎学力テスト、学級数など将来に向けての検討を進めることができた。また、LHRの実施時間についても検討していく。	B
教務	情報共有・業務の効率化	生徒の基本的な生活習慣の向上や安心安全な環境維持のための情報を、適切に職員・保護者に提供するシステムの改善・構築・維持管理ができたか	①	職員PCのネットワーク上にhtml形式の掲示板を作成し、職員への連絡等を定期的に更新しながら情報共有を図ることができた。また、各係、委員会で緊急に職員会、朝会で検討・共有しなければならなかったことがあったが、開催要請から実施の手順等が明確でなかった。今後検討していきたい。	C
		業務の分担や手順を見直し、効率化を図ることができたか	①	教務係内の業務内容を見直しを行い、移行年度となっている。意見集約を行い、来年度向け検討していく。	B
地域との連携	地域との連携	地域や中学生に、立志館だよりやホームページ、学校開放を通じて、総合学科高校としての本校の教育活動や魅力を伝えることができたか	②③	ホームページをマイナーチェンジしていく中で内容の整理と見やすいホームページを検討している。	C
		生徒一人ひとりが基礎学力を定着できるように、学力向上を目指した授業改善をすることができたか	③	基礎学力の向上を目指しアクティブラーニングの研修会を行い、授業改善に役立てることができた。	B
		進学希望者の進路実現のため、放課後の学力補充や長期休業を活用して補習や学習合宿が充実して実施できたか	③	進学希望者の進路実現のため、補習、個別指導を行い学力を向上させた。また、長期休業での学習合宿では多数参加し、有意義であった。	B
キャリア教育	地域の連携を充実させたキャリア教育の推進	生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向け「産業社会と人間」をはじめとし、インターンシップや地域との連携事業の中でキャリア教育が十分にを行うことができたか	②③	就業体験や地域との連携事業に参加する中で、社会的自立に向けた経験を積ませることができた。	B
	指導体制の充実	全職員が一丸となって、作文・小論文指導や面接対策指導を行い、生徒一人ひとりに応じた取り組みができたか	②	職員全員での面接や作文指導を行う態勢をつくり、生徒の進路実現に向けた支援を行うことができた。また、外部講師による面接指導も実施した。	B
生徒指導	生徒支援の充実	身だしなみ、挨拶の励行、時間厳守を重点課題とし、基本的な生活習慣と携帯マナー向上への意識の確立ができたか	①	頭髪等の身だしなみ、挨拶・丁寧な言葉遣い、ケータイ・スマホの預かり指導等を引き続き徹底していきたい。	B
		人権を尊重する態度、社会規範意識を向上させることができたか	①	挨拶やマナー教育等の指導について指導の強化を図った。	B
		生徒・保護者・担任等からのカウンセリング希望に対して適切かつ迅速に対応できたか	①	生徒観察に基づく教員間の情報共有を図り、生徒や保護者、担任からの希望に対応することができた。	B
生徒会	生徒会活動の支援	生徒の自主的活動の企画・運営を援助し、生徒が主体的に活動できるよう支援できたか。また、生徒会最大の行事である文化祭について、10年の節目を迎え更なる改善ができたか。	②	自分達でなく来校者をもてなすという発想転換のもと、模擬店の配置移動、クラス展示の見直しを行った。来校者の増加からも一定の成果は見られたと思われる。次年度も方向性は踏襲したい。	A
		ボランティア活動や地域行事へ自主的に参加できるよう支援できたか。	③	なかのバラまつりへのボランティアの参加を呼びかけ、本部役員や地域委員を中心に参加、支援することができた。	B
	クラブ活動の充実	クラブ活動への参加を促し、クラブ活動を通して心身の育成や充実した学校生活を送れるよう支援できたか。	①	新入生に対し、クラブ仮入部期間中に少なくとも1つのクラブは見学するようにして、クラブ加入意識を高めるよう努めた。	B
図書・視聴覚	図書館・視聴覚の運営の充実	読書週間の内容を充実させることができたか	②③	委員が中心となって企画・実施することができた。秋の読書週間も生徒主体で行うことができるよう指導を継続していく。	B
		生徒が主体的に進路を選択するための資料を積極的に収集できたか	②③	様々な選書ツールの中から本校生徒に見合った資料を収集することができた。	B
保健・環境整備	健康で住みよい学校づくり	学校全体の健康管理を進めることができたか	①	学校全体の協力で身体測定・健康診断が円滑に実施できた。熱中症の予防対策として熱中症指数計を導入したことで注意を促すことができた。7月の気温上昇で体調を崩す生徒が増加した。	B
	資源のリサイクルの推進	資源物のリサイクルを全員で進めることができたか	①	生徒会活動、学級活動を通してゴミの分別、資源のリサイクル活動を推進してきた。充分とはいえないが、資源リサイクルの意識は徐々に高まっていると思われる。	B
同窓会・PTA	同窓会の充実	生徒の学習・クラブ活動の支援を図り、同窓会事業等が充実できたか	②	年間計画に沿った事業が展開している。クラブ活動の機械部等支援をすることができた。更に生徒・卒業生の活躍に対して支援をしていきたい。	B
		教職員と保護者の連携を深めるPTA活動の強化	②	年度当初より総会等諸行事が立て込み、後手後手に回ってしまった。昨年と行事の内容を変えたことも一因ではあるが、保護者と教職員の関係を深める方策が今後の課題である。	C
教育課程・科目選択	科目選択に対する支援の充実	生徒の進路希望や興味・関心に応える科目選択指導に対して適切な支援ができたか	②③	入学当初から「産業社会と人間」の授業の中で、将来の進路について考えさせ、適切な科目選択になるように指導した。	A
		進路に関連した選択科目を履修できる配置表(時間割)の作成ができたか	②③	進路に関連した配置表(時間割)の作成はできたが、自由選択科目に希望が集中してしまったので、帯のバランスを考えながら調整をしていく。	B